

国語

2026 年度一般入試 (A・B・C) のねらいと出題方針

出題方針

日本語の基礎的知識や言葉の運用能力、論理的思考力のベースとなる読解力や表現力を問います。

具体的な作問の方針

1. 読解問題を 2 題、総合問題を 1 題、知識問題を 1 題出題します。
2. ㉠・㉡の読解問題では、文章を読んで書き手の意図を論理的に読み取る力や、読み取った内容を論理的にまとめる力を問う問題を出題します。㉠・㉡では漢字の書き取りなどの単純な知識問題を出題しません。
3. ㉢の総合問題では、短い説明的文章を読み、文章中に出て来た言葉や表現に関する知識問題のほか、本文の論旨をふまえて自分の考えをまとめる問題を出題します。
4. ㉣の知識問題では、漢字や語句、文法など、日本語の基礎的知識を問う問題と、知識の応用力を問う問題を出題します。
5. 漢字の書き取りや読みの問題は、小学校で習う 1026 字の中から出題します。

<問題構成>

- | | |
|---|-------------------------------------|
| ㉠ | 文章読解問題 (説明的文章) |
| ㉡ | 文章読解問題 (物語的文章) |
| ㉢ | 総合問題 (文脈の中での知識・短い説明的文章の読解・意見論述型の設問) |
| ㉣ | 知識問題 |

<読解問題の主な出題形式>

- ① 選択形式
- ② 空欄補充形式
- ③ 抜き出し形式
- ④ 脱文挿入
- ⑤ 記述形式
 - 1 字数 a 字数指定なし
 b 30～40 字程度
 c 50～60 字程度
 - 2 a 言い換え型 (本文中の表現を別の言葉で言い換える問題)
 b 要約型 (本文の内容を整理して筆者の意見や登場人物の心情を説明する問題)
 c 意見論述型 (本文の内容をふまえて自分の考えを述べる問題。課題を発見する力や自分の意見を論理的にまとめる力が必要)

解答を進める上でのアドバイス

1. 読解問題では、本文中に解答の根拠となる部分があります。文章の書き手や出題者の意図を的確に読み取り、解答の根拠となる部分を見つけましょう。
2. 時間が足りないことが原因で解けなかった問題が生じないように、過去問を通じて時間配分と解答順序のイメージをつかんで本番に臨むようにしましょう。

採点基準と配点について

1. 配点は、㉠・㉡の読解問題が 70 点、㉢の総合問題が 15 点、㉣の知識問題が 15 点です。
2. 記述問題の採点では、根拠が部分的にでも書けていれば、理解度の程度に応じてできるだけ部分点を与えるようにしています。
3. 漢字の採点については、漢字書き取り問題の場合は、トメ・ハネがいい加減なものや画数を 2 画で書くべきところを明らかに 1 画で書いているものは不正解としています。ただし、記述問題の解答中の漢字については、トメ・ハネや画数が多少乱れていても減点の対象とはしません。

2025 年度一般入試（A・B・C）採点結果の分析

2025 年度入試の平均点は、A 入試が 52.4、B 入試が 61.2 と、ともに 5 割を超えました。B 入試では大問ごとの得点率が、一番低かった□でも 57.3%と高くなっています。一方、C 入試では平均得点率が 48.6 となっており、40 点台と 50 点台後半の人数がそれぞれ多く、二極化が見られました。

□・□の文章読解問題では、記述問題で設問を正しく理解し、何を答えればよいかが分かったかどうかで差が生じました。また、C 入試では、抜き出して答える問題の抜き出しミスや、脱文挿入で「直後の五字」を抜き出す問題に対して直前の五字を答えるなどの小さなミスが非常に多く見られました。

得点上位者と得点下位者の得点率に差がついた問題では、次のような特徴が見られました。

- ・文章全体の構成や内容を踏まえて答える問題。
- ・答えの根拠が傍線部から離れたところにある問題。
- ・設問の条件を満たして答える問題

全体的に文章を正確に読み取る練習にどれだけ取り組んだか、普段から読書などを通じて様々な語句や表現に接する機会がどれだけあったかの差が、合否を分ける得点差につながる結果となりました。

A 入試

□は他の生物との共生についての文章です。全ての生物は他の生物に「迷惑をかける」ことで生きているということを「不完全でいびつな生き物」とし、何にも依存しない「完全な球体」と比較しているまとめの部分を読み取れたかどうかで得点に差が出ました。

□は、家族についての悩みを抱えた少年が、同じような悩みを抱える友達との別れに直面しながらも、サーフィンを通じて出会った人から勇気をもらう物語的文章です。登場人物がサーフィンを通して何を伝えようとしているのかを正確に読み取れたかが得点の分かれ目となりました。

□・□を通して出題される 60 字前後の記述では、複数のポイントのうち一つは書けているものの、その説明に字数を割き過ぎてしまい、他のポイントが入らないものが多くありました。

□の意見論述問題では、生活の中に季節感を取り入れる具体例を答える問題でしたが、直前の季節感を感じられるものの具体例に気を取られ、「取り入れる」ことの例として不十分な解答が目立ちました。

得点率

□ 問一：A 72% B 64% 問二：84% 問三 記述：38% 問四：62%
問五：I 72% II 62% 問六：48% 問七：66% 問八 記述：35% 問九：14%

□全体：48.8%

□ 問一：84% 問二：75% 問三 記述：I 62% II 56% 問四：43% 問五：67%
問六：I 62% II 49% 問七 記述：18% 問八：61%

□全体：50.4%

□ 問一：a 49% b 97% c 79% 問二：A 97% B 76% 問三：79% 問四：23%
問五：61% 問六 意見論述：66%

□全体：68.3%

□ 問一：1 54% 2 39% 3 91% 4 69% 5 66%
問二：1 11% 2 39% 3 80% 4 21% 5 61%

□全体：49.6%

B 入試

得点率

- 一 問一：A 96% B 86% 問二：88% 問三：25% 問四：41% 問五 記述：77%
問六：76% 問七 記述：30% 問八：68%
二 全体：59.8%
- 二 問一：98% 問二 記述：55% 問三：92% 問四：75% 問五：56%
問六：(1)34% (2)記述 27% 問七：44%
二 全体：57.3%
- 三 問一：a 98% b 74% c 94% 問二 記述：67% 問三：79% 問四：51%
問五：79% 問六 意見論述：66%
三 全体：72.3%
- 四 問一：1 漢字 80% 意味 21% 2 漢字 75% 意味 89% 3 漢字 73% 意味 97%
4 漢字 86% 意味 75% 5 漢字 72% 意味 95%
問二：1 28% 2 63% 3 32% 4 38% 5 18%
四 全体：62.7%

C 入試

得点率

- 一 問一：A 47% B 92% 問二：53% 問三：I 83% II 41% III 46%
問四 記述：6% 問五 記述：41% 問六：2% 問七：49%
二 全体：43.7%
- 二 問一 記述：37% 問二：66% 問三：69% 問四：I 47% II 53% 問五：32%
問六 記述：27% 問七：31% 問八：34%
二 全体：41.9%
- 三 問一：a 70% b 90% c 93% 問二：25% 問三：81% 問四：51% 問五：61%
問六 意見論述：48%
三 全体：59.7%
- 四 問一：1 漢字 73% 記号 46% 2 漢字 93% 意味 34% 3 漢字 88% 意味 75%
4 漢字 56% 意味 25% 5 漢字 86% 意味 56%
問二：1 92% 2 60% 3 93% 4 14% 5 73%
四 全体：64.3%

2026 年度 国語 1 科入試のねらいと出題方針

出題方針

文脈や場面に応じた日本語の運用能力、論理的思考力のベースとなる知識の定着、読解力や表現力を問います。

具体的な作問の方針

1. 読解問題を 2 題出題します。
2. 文章を読んで書き手の意図を論理的に読み取る力や、読み取った内容を論理的にまとめる力を問う問題を出題します。漢字の書き取りも一部含みます。
3. 漢字の書き取りや読みの問題は、小学校で習う 1026 字の中から出題します。

< 読解問題の主な出題形式 >

- ① 選択形式
- ② 空欄補充形式
- ③ 抜き出し形式
- ④ 脱文挿入
- ⑤ 記述形式
 - 1 字数 a 字数指定なし
b 50～60 字程度
c 80～90 字程度
 - 2 a 言い換え型（本文中の表現を別の言葉で言い換える問題）
b 要約型（本文の内容を整理して筆者の意見や登場人物の心情を説明する問題）

2025 年度 国語 1 科入試採点結果の分析

2025 年度の平均得点率は、55.3 点でした。この入試は、国語 1 科目で受験できる入試方式で、国語が得意な受験生が多く受験するため、A・B・C 入試に比べて、難易度が高い選択肢形式の問題でも得点率が高く、記述問題も空欄がほとんど見られませんでした。配点の高い記述問題の解答をどのように作成していくかが合否を分けます。

長めの記述問題では、全ての条件を満たした解答が作れたかということや、物語の時系列や人物関係がきちんと理解できているかといったことが得点の差につながりました。国語の読解力のレベルが一定以上の受験生が多い中、本文全体を見通して文脈に沿った心情の変化や論理展開をとらえるだけでなく、与えられた条件をもとに文章を読み取る力やキーワードを文章化して的確に表現できる力を備えている受験生が合格ラインを上回る得点に到達するというのが、国語の 1 科入試の特徴であると考えます。

1 科入試

得点率

- ☐ 問一：a 92% b 87% 問二：82% 問三：49%
問四：(1)記述 28% (2)Ⅰ 35% Ⅱ 31% Ⅲ 62% 問五：64% 問六：62%
問七：59% 問八 記述：31% 問九：59%
☐ 全体：52.4%
- ☐ 問一：a 96% b 91% c 97% 問二：51% 問三：Ⅰ 56% Ⅱ 70% Ⅲ 40%
問四：68% 問五 記述：51% 問六 記述：24% 問七：83% 問八：78%
問九：34% 問十：50%
☐ 全体：58.2%